

提言構想メモの記入様式

名前	柳 晴 実
タイトル	母語（継承語）・母文化教育の機会を保障し、子どもたちのアイデンティティを育成するための仕組み作り
内容	①幼少期から母語・母文化に触れ、勉強できる場を保障する事業の構築。 ②県立高校での母語授業の実施。＊第2外国語ではなく「母語（継承語）授業」外国人コミュニティや外国につながるのある人材を活かせる場として講師の育成も視野に入れたい。
理由	現在、神奈川県に住んでいる外国につながる子どもの数は、増加しています。親が来日して生活基盤を作り、子どもを呼び寄せることも多くなっています。来日後、日本での暮らしを続ける子どもたち、また日本で生まれた子どもたちの成長、アイデンティティの育成において、母語や母文化を学ぶ機会を保証しサポートする必要があると考えます。保護者は毎日の仕事や生活に追われ、家庭内で母語・母文化教育を実施するのはとても難しく、学校教育や地域活動の中で学べる機会を保障することがとても大切だと考えます。 ①神奈川県内で実施されている母語教室は6か所（スペイン語、ポルトガル語、ミャンマー語、タイ語など）、民族学校やコミュニティ内で行われているものもあるが、限られている。それぞれがNPO法人や個人の尽力により実施されているケースが多いのが現状です。すでに個人やNPO団体が実施する事業を支える基金などは存在しますが、日本語教育の推進のように、神奈川県が積極的に母語・母文化教育の重要性を認め、その機会を保障する施策や取り組みを作ってほしいと考えます。 県内の母語教室：https://www.kifjp.org/classroom/native-list/ ②外国につながる高校生が母語（継承語）に触れ、学ぶ機会を得ることは、アイデンティティ形成においてとても重要だと思います。 神奈川県立高校では鶴見総合高等学校（スペイン語、中国語、韓国朝鮮語）、横浜国際高等学校（中国語、ハングル、アラビア語、ドイツ語）、神奈川総合高等学校（ドイツ語、スペイン語、フランス語、ハングル、中国語）で第2外国語として実施。「外国語」として学ぶだけではなく、「母語・継承語」として学ぶ機会としてとらえ、神奈川県の現状に合わせて言語の検討や外国につながる生徒が多い高校に広げられるようにしたいと考えました。 教える側の育成も大切で、日本で育った若者が活躍する場の確保、そして高校生にとって自分の将来を考えるうえで、モデルケースと出会う場としての意味もある

	と^{かんが}考えます。 また、外国^{がいこく}につながる^{こうこうせい}高校生だけでなく、日本人^{にほんじん}の生徒^{せいと}にとっても、今後の^{こんご}多文化^{たぶんか}共生社会^{きょうせいしゃかい}を築^{きず}いていくうえで、とてもいい^{まな}学び^{まな}の機会^{きかい}になると^{かんが}考えます。 (参考) 大阪府立門真^{さんこう おおさかふりつかどま}なみはや高校^{こうこう}の母語^{ぼご} (第一言語^{だいいちげんご}) 授業^{じゅぎょう} (これまでに、中国語^{ちゅうごくご}、フィリピン語^ご、タイ語^ご、韓国語^{かんこくご}、ポルトガル語^ご、スペイン語^ご、英語^{えいご}等) https://www2.osaka-c.ed.jp/kadomanamihaya/folder_3/post-10.html
備考 ^{びこう}	今後の^{こんご}会議^{かいぎ}で、提言^{ていげん}構想^{こうそう}に^{かんけい}関係^{ないよう}する^{べんきょうかい}内容^{じっし}について、勉強会^{けんどう}を実施^しすることを検討^{けんとう}しています。どのような^{がくしゅう}テーマ^{てま}について学^{がく}習^{しゅう}したいですか？ 希望^{きぼう}する^{きにゆう}テーマ^{てま}があれば、記入^{きにゆう}してください。 ● 神奈川県^{かながわけん}における^{ぼご}母語^{ぼご}・母文化^{ぼぶん}教育^{かきょういく}の現^{げん}状^{じょう} ● 外国人^{がいこくじん}保護^{ほご}者^{しや}の意見^{いけん}交^{こう}流^{りゅう}会^{かい}

ていげんこうそう きにゆうようしき
提言構想メモの記入様式

名前	柳 晴 実
タイトル	外国籍県民かながわ会議に関する、広報活動の充実
内容	神奈川県における外国籍県民の県政参加をより一層進めていくために、神奈川県民への県民会議の周知、広報活動を充実させる。 そのために、県民会議の役割の中に、広報活動（イベントなどへの参加）を盛り込みそれに伴う予算拡充を行う。 ホームページや広報誌の作成なども検討していく。
理由	外国籍県民かながわ会議は、「外国籍県民の県政参加を推進し、外国籍県民が自らに関する諸問題を検討する場を確保するとともに、ともに生きる地域社会づくりへの参画を進めること」を目的として1998年に設置されています。 近年、神奈川県で暮らす外国人は増加傾向にあるにもかかわらず、外国籍県民かながわ会議に公募する外国人は減少気味になっています。原因として、県民会議について、国籍に関わらず知っている人がとても少ないことがあげられると思います。 今後、神奈川県の多文化共生を進めていくためにも、外国籍県民の県政参加の推進はとても大事であり、当事者の意見を反映できる県民会議の必要性は高まっていると考えます。県民会議について、神奈川県民に知らせ、共に地域社会を創る一員として活動していること、当事者の意見を県政に活かせる場があることを、もっと知ってもらうことで、地域社会への参画を促していきたい。 そのために、県民会議の活動を知らせる機会を増やして、アピールしていく必要があると思います。例えば、県内の多文化共生に関連するイベントへの参加、ホームページや広報誌の作成、広く外国籍県民や外国につながる県民の意見を集めることのできる仕組み作り（HPの活用）など。
備考	今後の会議で、提言構想に関係する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？ 希望するテーマがあれば、記入してください。

ていげんこうそう きにゅうようしき
提言構想メモの記入様式

名前	サントイスデバン オオシロ マレナ ルイサ
タイトル	子供の高等学校における教育及びその周知
内容	・高等学校に進むことについての外国人向けの情報が行き届いていないといった状況から外国人児童生徒の保護者を対象とした資料、説明会、情報発信について協議をしていきたい。(大学受験においても同様、情報発信ができればいいかと考えています。)→ガイドブックなどがあることが確認できるものの、外国人である私自身は目にしたことがないものが多く、検索をする際に外国人の保護者は外国語で検索するが、そこで出てこないことが少し気になる。情報はあっても、届かない現状に対して考える必要がある。 ・教材に目を通しましたが、子供の教材としては子供が母語で使えない言葉まで含まれているものも見られ、子供の日本語習得にそれが影響しないか、考える必要もあるのではないかと。子供によって母語の習得の差が日本語の習得の差に顕著に出るため、そこを考慮した教材があることが理想的だと感じた。
理由	学校の三者面談において、成績の話や進学の話がある時、先生の日本語が難しいことや、日本の教育システムの理解不足により、困ることが多い外国人のために、学校での優しい日本語の周知と、タブレット端末を活用した翻訳システムなどを用いて保護者をサポートするのもいいかもしれない。
備考	今後の会議で、提言構想に関係する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？ 希望するテーマがあれば、記入してください。 言語教育に関する知識を交えながら、子供たちとその親がどういった言語環境に置かれているのかを考えていく形で行っていきたいです。負担なく、神奈川県としてできる変化を考えていきたいです。学校側の負担のない提言を考えていきたいです。

提言構想メモの記入様式

名前	モラレス ハイメ (Jaime Morales)
タイトル	効果的な情報伝達の方法とその手段
内容	目的： 私たちのコミュニティを変革するため、献身的なチームを結成し、積極的に取り組むために、今後の2年間にわたり、委員会の全メンバーが積極的に参加し、革新的で創造的なアイデアを促進することが極めて重要です。 これにより、既存の課題の改善や新たな選択肢の模索を推進し、多様な外国人コミュニティのニーズに応えることを目指します。 例えば、情報分野においては、時間を確保し、専門的なワークショップや研修を実施することで、メンバーのスキルと知識の向上を図る必要があります。 神奈川県で使用されているメディアの調査： 神奈川県で情報を伝えるために最も効果的なコミュニケーション手段を特定し、分析することが重要です。新しいテクノロジープラットフォームの習得や、最適なコミュニケーション手段の採用に積極的に取り組み、それらを私たちの対象グループに適応させましょう。私たちの目標は、接触対象を拡大し、すべての住民とのコミュニケーションを強化し、より効果的で身近な交流を促進することです。 外国人居住者に関する統計データの収集： 神奈川県における外国人居住者に関する既存の情報を収集・分析することは非常に重要です。出身国、年齢、特性などの情報を含めて、これらのデータをもとに、ターゲットとなるグループを正確に定義し、最も適した言語を選択し、効果的なコミュニケーションチャネルを活用することができます。各データは、多様性に対してより包容的でつながりのある、受け入れやすいコミュニティを築く一歩となります。 情報センターについて： 都道府県内の情報センターの数について詳しい情報を入手し、それらが効果的に連携しているかどうかを評価することが重要です。これらのリソースを十分に理解することで、その潜在能力を最大限に引き出し、円滑なコミュニケーションを促進し、すべての住民を支えるネットワークを強化することができます。 あーすプラザについて： あーすプラザが他の県内施設と情報の共有や交流を促進するハブに成長する可能性を評価することが重要です。 住民に関するすべての情報を集約し、連携させる「情報センター」を作れない

	といけない、より効率的でアクセスしやすいデータ管理を促進する必要があります。 連絡網の構築と確立： 他のグループや情報普及に取り組む組織と協力できる強固なネットワークを持つことは、メッセージ伝達の効率を改善し、住民により質の高いサービスを提供することにつながります。情報の収集と配布における協力は、これらの目標を達成するために不可欠です。
理由	背景と理由 デジタル技術の急速な進化により、従来のコミュニケーション方法は時代遅れになりつつあります。例えば、手紙はデジタル媒体に取って代われ、静的なフォーマットであるテキストや画像は、動画などの動的なコンテンツに置き換えられています。特に若い世代の間では、Vlog、TikTok、YouTubeなどのプラットフォームが主要な情報源および娯楽の手段となっています。そのため、神奈川県はこれらの技術を活用し、情報の発信範囲を拡大し、アクセスしやすさを向上させる必要があります。 さらに、これらの現代的な手段やツールを取り入れることで、情報はいつでもどこでも利用可能となり、電車やバスでの移動中でもアクセスできます。これにより、オンデマンドでコンテンツにアクセスでき、より効果的で現代のライフスタイルに適したコミュニケーションが可能となります。
備考	今後の会議で、提言構想に関する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？ 希望するテーマがあれば、記入してください。 最新の情報拡散方法に関するワークショップを開催することは非常に有益です。また、Google フォームなどのプラットフォームを利用したアンケートの実施についての研修を提供し、外国人居住者が最も利用しているコミュニケーション手段を特定することも重要です。

ていげんこうそう きにゆうようしき
提言構想メモの記入様式

名前	アルテアガ アルテアガ タミエ スエミ
タイトル	外国人住民の「情報の届き方」を見直すためのアンケートと改善提案
内容	(会議で話し合いたいこと) ① アンケートの実施 外国人住民を対象に、以下の内容を聞く簡単なアンケートを実施します。 ・どんな情報が必要か ・どこから情報を得ているか ・今の情報はわかりやすいか ・どんな方法ならもっと知ることができるか ※やさしい日本語・英語・中国語・スペイン語などで作成し、紙とオンラインで配布。 ② 結果の分析と共有 アンケートの結果から、「届いていない情報」や「使われていない発信方法」を見つけます。必要に応じて、SNS の使い方や翻訳方法の見直しを提案します。 ③ 発信方法の改善案の作成 アンケートの結果に基づき、年代や立場（親・学生・旅行者など）に合った発信方法を整理し、行政に提案します。 ④ 継続的なチェック体制の検討 発信して終わりではなく、「情報が届いたか」「使われているか」を定期的にチェックできる仕組みの検討を進めます。
理由	神奈川県では、外国人住民に向けた多言語の情報発信がすでに行われています。たとえば、相談窓口、ガイドブック、SNS などがあります。しかし、「情報を知らなかった」「日本語が難しくわからなかった」「どこで見られるのかわからない」という声も多くあります。また、生活の忙しさやデジタルの使い方の違いなどにより、「情報が届いていない人」がいることが問題です。今ある情報の発信方法が、本当に効果的かどうかを確認する仕組みが必要だと考えます。 ■ 期待される効果 ・情報が本当に必要な人に届くようになる ・情報格差が小さくなる ・外国人住民の不安や困りごとが減り、安心して生活できるようになる ・既存のサービスの利用率が上がる ・SNS や資料の改善により、県の発信力が高まる

びこう 備考	こんご 今後の会議で、かいぎ ていげんこうそう 提言構想にかんけい 関係するないよう 内容について、べんきょうかい 勉強会をじっし 実施することをけんとう 検討 しています。どのようなテーマについてがくしゅう 学習したいですか？ きぼう 希望するテーマがあれば、きにゅう 記入してください。
-------------------	--

ていげんこうそう きにゆうようしき
提言構想メモの記入様式

名前	李 周殷
タイトル	県立高校にて「多文化共生社会での国際理解教育」について
内容	県立高校にて国際理解講座を設置し、異文化を学ぶ。 横浜市では、市立小学校にて1年間一つの国のことを学ぶ授業があります。1年間、小学校全校生を対象にすることですので、コマ数、授業の内容は物足りないところが多いと思います。 高校にてコマ数も増やし、授業も実質的な内容を取り扱う。 －1年間外国人の講師を招き、 －世界のいろんな国の社会・経済・文化について －世界から見られている日本社会について学んでいく。 －さらに、様々な形で世界の高校生たちとの交流の場を作る。(On/Off)
理由	県立高校にて多文化共生社会での国際理解教育を普及・拡大させていただきたいです。現在神奈川県には日本をはじめ、外国人が大勢住んでいます。共生していくためには、お互いに相手のことを学んでいく、分かっていることが大事とおもっております。外国人は来日し、日本の文化と言葉を学ぶ機会がたくさんありますが。日本人には、自分から求めないとなかなか異文化を学ぶチャンスはないと思います。社会人になる前、学校にて国際理解教育という概念から機会を与えたらいかがでしょうか？異文化について学んだあと、社会に出たら国際人になっている自分を彼らは感じられることができるんじゃないでしょうか？
備考	今後の会議で、提言構想に関係する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？ 希望するテーマがあれば、記入してください。 〔 多文化共生、広報 〕

ていげんこうそう きにゆうようしき
提言構想メモの記入様式

名前	王爽<1>
タイトル	外国人向けの情報提供の伝達方法について ※修正有、具体例
内容	外国人向けの情報やサービスについて、市町村や NGO 法人と連携し、積極的に周知・発信を行う。 【オンラインでの発信】 SNS アカウントの活用や、情報を集約した専用ページを設置する。また、外国人住民向けと、外国人観光客向けの情報を区別して提供することで、よりの確な情報発信を図る。 専用の SNS アカウントを新たに開設・運営し、既存の関連アカウントとも連携して情報の発信力を高める。 【リアルでの発信】 利用者が多い場所、または特定の拠点において情報を提供・掲示する。 <具体例> (ブース/ポスター) 外国のフェスティバル会場において「かながわ会議」の広報を行う (パンフレット) 医療機関にて、医療通訳ボランティアに関する情報を案内する (ポスター) 横浜駅周辺にて多言語による災害関連情報や、外国人就労・定着支援研修について周知を図る 備考 (関連情報) ※かながわ会議 (第 2 期) 提言 (20) 情報伝達について、市町村や NGO と連携をとりながら、外国籍 県民に確実に情報が伝わる方法を確立する。 <https://www.pref.kanagawa.jp/documents/115873/sisakukateigendai2ki201711.pdf> P12 ※SNS アカウント (例) (INSTA) かながわ国際ファンクラブ
理由	【オンラインでの情報伝達手段について】

	現在、神奈川県には複数の公式SNS アカウントが存在していますが、外国人住民向けの暮らしに関する情報を発信しているアカウントは限られているのが現状です。 英語で観光情報を中心に発信している「South of Tokyo ～神奈川～」や、主に留学生を対象とした「かながわ国際ファンクラブ」はありますが、それ以外に生活情報を提供する専用アカウントは見当たりません。 また、多くの情報は神奈川県の公式ホームページに掲載されているものの、外国語で必要な情報にたどり着くのが難しいという課題があります。 そのため、外国人向けに生活情報を集約した専用ページを設けることで、より効果的に情報が届くと考えられます。 → 例えば、「かながわ国際ファンクラブ」にたどり着く経路は「ホーム > 教育・文化・スポーツ > 文化・芸術 > 文化交流・国際交流 > かながわ国際ファンクラブ」になります。
備考	今後の会議で、提言構想に関する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？ 希望するテーマがあれば、記入してください。 〔みんな沢山の具体例を挙げて検討していきましょう。〕

ていげんこうそう きにゆうようしき
提言構想メモの記入様式

名前	王 爽
タイトル	外国人旅行者に最低限の情報を提供するよう要望。 ※王提言の<1>に統合するため、本提言メモを保留させていただきます。
内容	外国人旅行者向けに、緊急医療・災害対策から日本の観光マナーまで、最低限の情報を多言語で分かりやすく提供する。 ・ウェブサイトで該当情報を分かりやすくまとめて公開する。 ・適時に適切な場所で特定の情報を広報する。 例： 入国時に空港で（デジタル）パンフレットを提供する。 デパートや観光地で災害対策の周知を進める。 交通機関で、病院の利用方法を案内する情報を提供する。
理由	・外国人観光客が増えるとともに、観光地の住民とのトラブルが増えている。お互いが困らないように、事前に有益な情報を提供してほしい。悪意はないのに、単なる文化や習慣の違いや不注意で悪い印象を与えるのは非常に残念だ。 ・医療体系や災害対応が大きく異なるため、いざという時に本人は対応が難しくなる。 ・急病や災害は避けられないため、万全な対策を講じることを期待する。命にかかわる事故や事件を防ぎ、発生時には適切な対応ができるように、本人にも事前の準備を促すべきだ。
備考	今後の会議で、提言構想に関する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？ 希望するテーマがあれば、記入してください。 〔法人に協力を求めるべきか、国に要請すべきか、どのように判断すればよいか？〕

ていげんこうそう きにゆうようしき
提言構想メモの記入様式

名前	王爽<2>
タイトル	在留カード・特別永住者証明書を更新する際に必要となる、その他の手続きを案内する。 ※修正有
内容	在留カード・特別永住者証明書を更新する際に必要となる、その他の手続きを案内する。 <具体例> 出入国在留管理局で在留カード交付時、次回の更新時期や、在留カードの更新に伴い、マイナンバーカードなどの併せて更新が必要な資格証明書について案内する。 外国人向けのアカウント発信で同じ注意喚起を行う。(提言メモ<1>に統合可) 備考(関連情報) ・かながわ会議(第8期)提言 (3-1) 旧外国人登録証明書から在留カード、特別永住者証明書の切り替えおよび更新時期に日本の免許証と同じように更新案内の通知を送付すること。 <https://www.pref.kanagawa.jp/documents/115873/implementation_status_8th.pdf> P2
理由	・更新時期がよく分からない人がいた。 ・在留カード更新後にマイナンバーカード・銀行・クレジットカードの情報を更新しなかったため、生活に影響が出た。
備考	今後の会議で、提言構想に関する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？ 希望するテーマがあれば、記入してください。 (なし)

ていげんこうそう きにゆうようしき
提言構想メモの記入様式

名前	王爽<3>
タイトル	外国の運転免許を日本の運転免許へ切り替える試験の混雑緩和のため ※修正有
内容	外国の運転免許から日本の運転免許への切り替え試験に関する要望 混雑緩和のため、以下の対策を講じていただくように <具体例> a) 実技試験と同様に、書類審査および筆記試験にもネット予約システムを導入する。 b) 試験の1日あたりの受付枠を拡大し、試験をより迅速に実施するための方法を検討する。 c) 通訳ボランティアの活用や AI技術の導入を通じて、手続きの効率化を促進する。※c) について、日本語があまり下手すぎたら、むしろ合格させないほうが いいと思った（実にその不合格の件を見かけた）ので、撤回させていただきます。
理由	・背景：運転手不足を緩和するために外国人運転手が増加する中、外国の運転免許を日本の免許へ切り替える外国人が急増している。 ・書類審査の予約受付電話が繋がりにくい状況が続いている。 ・現在、書類審査の予約は最短でも2、3か月以上先まで埋まっており、筆記試験の有効期限は6か月であるにもかかわらず、実技試験の予約は筆記試験合格日から1か月以上先でしか取れない。そのため、合格までの期間が長すぎる。 ・筆記試験および実技試験の実施効率は、人員の増強や業務の効率化によって改善できる可能性がある。 ・神奈川県は1日あたりの受付枠が少ないと見える（実態把握に調査必要）。
備考	今後の会議で、提言構想に関する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？ 希望するテーマがあれば、記入してください。 「「解題」の「a, b について外国籍県民にとっての課題を具体的に整理してください。」の回答として、タイトルの外免切替の混雑状況だと思いますが、「海内」への理解間違いがあれば、会議で口頭で話させていただきます。

ていげんこうそう きにゆうようしき
提言構想メモの記入様式

名前	王 爽
タイトル	外国人向けの情報提供について ※提言1の「外国人向けの情報提供の伝達方法について」とは違う「提供」視点。
内容	※アルテアガ委員の提言メモと重複しているため、保留させていただきます。 外国人向けの情報やサービスについて、県統合の立場で市町村やN G O 法人と連携し情報網を構築する。 - 情報網の目的：(個人)利用者への情報（間接）提供、 (組織)市町村やN G O 法人など組織間の情報交換、 (県)全体の実態把握 - 情報網の構成：(組織的)縦は県、市町村、法人、団体に、 (情報的)横は分野別とする。 - 情報網の手段：公式ウェブサイト又はアプリ運営 - 情報網の機能：県統括の立場で分野別の県各市町村法人団体の情報を収集し、 分野別に分かりやすく提供する。 - 情報網の運営：立ち上げ（県メイン）、メンテナンス（県メイン） 情報アップデート（各市町村、法人、団体メイン）
理由	外国人が円滑に情報を入手できるようにするため。
備考	今後の会議で、提言構想に関係する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？ 希望するテーマがあれば、記入してください。 （ 現行県や市町村などからの情報提供についての実態把握必要。 協力の組織のまとめが必要。 提供情報の分野のまとめが必要。 ）

ていげんこうそう きにゆうようしき
提言構想メモの記入様式

名前	倉橋 ジェラルデン
タイトル	日本における外国人の高齢化の進展
内容	外国人高齢者多言語支援ラウンジ、外国人高齢者が学び、意見交換できるスペースを作りたい。
理由	・神奈川県に住む外国人のニーズを考えると、多くの外国人が日本で高齢期を迎えていることに気づきます。老後を迎えるにあたり、多くの人が、ゆったりとくつろぎ、楽しみながら学び、過ごせる場所を求めていることに気づきました。日本人と気軽に交流できない外国人高齢者のために、多言語で生活システムに関する相談やアドバイスを受け、日本での老後を楽しく過ごすためのヒントを提供できるような場を作ることを提案します。
備考	今後の会議で、提言構想に関する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？ 希望するテーマがあれば、記入してください。 〔神奈川県内に外国人高齢はどのぐらいありますか知りたい。〕

ていげんこうそう きにゆうようしき
提言構想メモの記入様式

名前	しょう こうめい 蔣 香梅
タイトル	がいこくじんむ せいかつ 外国人向け生活オリエンテーションについて
内容	せいかつ ていきで き かいさい 生活オリエンテーションを定期的に開催する、 じっしないう 実施内容は - きほん せいかつ • 基本な生活ガイドについて - いりよう きょういく • 医療や教育について - ぼうさい さいがいの じ たいおう • 防災・災害時の対応について じっしほうほう たいめんおよ かいさい 実施方法は対面及びオンライン開催。 また、開催予定と結果を県ホームページにも公開する。 しゅつにゅうこくかんりちよう こうかい 出入国管理庁がすでに公開している 17言語「生活オリエンテーション動画」の じようほう つな 情報URL を繋がるようにする。
理由	かながわけん す がいこくじんけんみん あんしん せいかつ 神奈川県に住む外国人県民が安心して生活できるように、 せいかつ かいさい 生活オリエンテーションを開催することはとても有効と考えられる。 ぎようせい ちいき れんけい 行政や地域コミュニティが連携することで、より良いまちづくりに繋がります。 げんざい せいかつ おこな しちようそん がいこくじん 現在、「生活オリエンテーション」は行われている市町村もありますが、外国人 じゅうみん せいかつ やくだ じようほう じゅうぶん とど しちようそん 住民の生活に役立つ情報が十分に届いていない市町村もあります。せっかく ゆうえき じようほう かくちいき い わた ひつよう かたがた とど 有益な情報があっても、各地域に行き渡らず、必要とする方々のもとに届かない かだい という課題がありました。 そこで、まずはかながわけんが主体となり、県の事業として各市町村へ情報を広げる やくわり にな かくしちようそん にほんごこうざ いっかん ていきで き 役割を担うことといたします。各市町村にある日本語講座の一環として定期的に 「生活オリエンテーション」を開催することで、中長期在留する外国人の方々が あんしん せいかつ ひつよう じようほう わ ていきよう 安心して生活できるよう、必要な情報を分かりやすく提供する。
備考	こんご かいぎ ていげんこうそう かんけい ないよう べんきようかい じっし けんとう 今後の会議で、提言構想に関係する内容について、勉強会を実施することを検討 しています。どのようなテーマについて学習したいですか？ きぼう 希望するテーマがあれば、記入してください。 (せいかつ けんがく 生活オリエンテーションの見学)

ていげんこうそう きにゆうようしき
提言構想メモの記入様式

名前	ストービー ステュアート
タイトル	「PREPARE」-神奈川県在住外国人・観光客の防災力向上に向けて
内容	(会議で話したいこと) 神奈川県に対し、外国人居住者および外国人観光客の災害対策強化に向けた措置を講じていただくよう、お願い申し上げます。
理由	1. 神奈川県内の自治体を対象に、外国人住民の支援における災害対策と災害対応の訓練を行う特別訓練プロジェクトを設立し、神奈川県全体で統一されたモデルを確立する ・ 年1回の災害対策セミナーを開催。神奈川県内の各自治体および市町の災害対策担当責任者を招請 ・ これらのセミナーの結論を基に、災害時に神奈川県の外国人住民を支援するための標準化された方法を策定する。 2. 外国人向けの災害対策情報を発信するためのFacebookとInstagramのソーシャルメディアプラットフォームを設立する。 3. 緊急時において、AI翻訳ツールを活用して多言語でのコミュニケーションを行う。特に、緊急放送（緊急スピーカー/サイレン）やメール、モバイルアラートを通じて警告を伝達する際などに活用する。
備考	今後の会議で、提言構想に関係する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？ 希望するテーマがあれば、記入してください。

ていげんこうそう きにゆうようしき
提言構想メモの記入様式

名前	ドン フン タオ
タイトル	AI × 外国人材育成による 神奈川県グローバル競争力強化プロジェクト
内容	神奈川県における外国人材の育成と地域定着を目的として、以下の施策をAI技術と連携しながら段階的に実施します。 (1) AI日本語・職業スキル教育プラットフォームの提供 - AI が個々の外国人の理解度・職種・母語に応じて学習内容を最適化(介護・製造・飲食・IT など) - 発音矯正や自動翻訳機能付きの会話練習アプリも連携 (2) AI による生活・行政支援サポート - 外国人が直面する「医療」「子育て」「行政手続き」などに関して、LINE や Web経由で使える AI チャットを設置 - 対応言語：英語、中国語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語など (3) 企業・地域団体とのマッチング支援 - AI が人材のスキルデータをもとに適切な職場・地域ボランティア・NPO活動をマッチング - 離職や孤立を防ぎ、コミュニティ定着を促進 (4) 行政・教育機関向けダッシュボードの構築 - 外国人材の学習進捗・定着状況・相談履歴を AI で分析し、政策判断に活用 - 効果検証しながら、横浜・川崎・藤沢などのモデル自治体から順次展開
理由	(1) 労働力確保と産業維持のため - 神奈川県では 2040年までに高齢化と生産年齢人口の急減が予測されています。 - 外国人材は今後、介護・物流・建設・製造など県内主要産業の中核を担う存在となります。 - 早期育成と定着支援を AI で効率化することで、人手不足への備えが可能になります。 (2) 「定着支援」が他県との差別化ポイントになるため - 近隣の愛知県・大阪府も外国人材活用を推進していますが、教育・定着のインフラ整備にはまだ課題が残っています。

	かながわけんがAIをかつようしたしえんたいせい支援体制をいち早く整備することで、**「がいこくじん外国人にえら選ばれる県」「きぎょう企業にえら選ばれる県」**としてリードできます。 (3) さいがい災害・かんせんしやう感染症時のたげん多言語対応の強化 じしん地震・たいふう台風・かんせんしやう感染症などの非常時に、AIによるじどうほんやく自動翻訳・きんきゆうれんらくたいせい緊急連絡体制があればがいこくじん外国人住民の命を守れます。 - これはじゅうみんぜんたい住民全体の安全にもつながる、極めて実用的かつ差別のない施策です。 (4) かんこう観光・じんざいせんりやくグローバル人材戦略とも連動可能 - 教育を受けた外国人材が、かんこう観光・ぼうえき貿易・ぶんかこうりゆう文化交流の担い手となることでかながわけん神奈川県の国際化を牽引できます。 - 特にとく留学生やぎのうじっしゅうせい技能実習生がかながわ神奈川に長く住み続ける流れが生まれれば、じんこうばんしょう人口減少の歯止めにもつながります。
備考	こんご今後の会議で、かいぎ提言構想にていげんこうそう関係するかんけい内容について、ないよう勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについてがくしゅう学習したいですか？ きぼう希望するテーマがあれば、きにゅう記入してください。

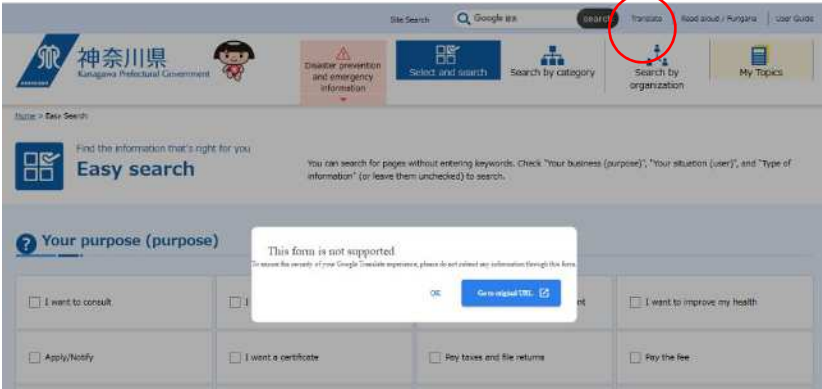
ていげんこうそう きにゆうようしき
提言構想メモの記入様式

名前	バ ジベル
タイトル	交 流 のイベントを増やす
内容	異なる文化や価値観を持つ人々が直接交流すること。国際社会に繋がることがあります。 「ふるさと紹介」「日本語スラングを使ってみよう」など、テーマを設けた会話イベントも効果的 日本人も参加しやすいように、料理、音楽、スポーツなどの趣味を活かした交流を設計。 お年寄りと若者の交流として、昔話を聞く会や茶道体験などを企画 外国人が日本の夏祭りに参加して食文化を共有する バイリンガル広報、興味ベースのイベント、SNS活用、特典提供
理由	外国人の増加データを確認しました。 外国人住民の増加に伴い、互いに支え合いながら生活する、日常的な交流の機会を増やすことが不可欠である。
備考	今後の会議で、提言構想に関係する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？ 希望するテーマがあれば、記入してください。 [https://www.pref.kanagawa.jp/docs/k2w/kanafan/index.html]

ていげんこうそう きにゆうようしき
提言構想メモの記入様式

名前	ハリソン ジョナサン
タイトル	神奈川県ホームページに地方参政権情報とリンクについて
内容	神奈川県ホームページでは地方参政権情報とリンクをつけると日本人と外国人は混乱にならないです。このページでよいと思います： https://www.pref.kanagawa.jp/docs/em7/cnt/f5/index.html 1. 地方参政権情報について、「日本国民になると地方参政権できます。」 2. 「日本国民になりたいなら、MOJ ページに情報確認してください。」を書く と MOJ リンクをつけるとよいと思います。 (https://www.moj.go.jp/EN/MINJI/minji78.html) 3. 神奈川県ホームページに地方参政権情報とリンクについて もし「帰化は国の制度であり、地方参政権のための制度ではないため、県のホームページに掲載することは難しいです。」なら、この提言を取り下げたいと思います。
理由	1. 「kanagawa prefectural government election voting」をグーグルで探すと神奈川県ホームページはあまりこないです。横浜市ページは「日本国民なら」情報がありますけど、リンクはないです。 2. 2019年から、このテーマはニュースになりました。日本人と外国人は情報があれば、混乱にならないです。 3. 外国籍県民かながわ会議第1期から第12期提言概要には3回地方参政権について提言があります。 (3) 県政・地域参加 11提言 ウ 第3期提言4 県政への参加について永住外国人にを付与するよう国に要請する。状況A エ 第3期提言5 県政への参加について住民投票制度を創設する場合には、永住外国籍県民にも住民投票権を付与する。状況B キ 第8期提言5 外国人の地方選挙の選挙権について同じ神奈川に住む外国籍県民として、自分たちの意見を確実に届けるために、永住資格のある外国人に地方選挙の選挙権を付与するよう国に要望することを要請する。状況B
備考	今後の会議で、提言構想に関する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？ 希望するテーマがあれば、記入してください。

ていげんこうそう きにゆうようしき
提言構想メモの記入様式

なまえ 名前	ハリソン ジョナサン
タイトル	かながわけん 神奈川県ホームページの「Translate」(ほんやく)とあお 青いボタンについて
ないよう 内容	かながわけん 神奈川県ホームページの「Translate」(ほんやく)について(写真1の赤い丸)問題2点があります。 1. グーグル翻訳通訳を使うとフォームを使う前に Original URL に戻すことが必要です。ちょっと不安です。ページの形 (layout) を覚えなれないといけません。(写真1) 2. グーグル翻訳を使うとリンク (青いと白いリンクボタン) は翻訳にならないです。不安です。青いボタンを普通の文字・言葉に修正したら、グーグル翻訳で翻訳になります。(写真2と3) これは提言ではなくて、ITサポートのお願いだと思います。 あ。 https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f209/p809020.html い。 https://www.pref.kanagawa.jp/docs/em7/cnt/f5/index.html え。 https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h6d/passport/index.html 写真1  写真2 

	しゃしん 写真3  3. 第12期提言 1 「神奈川県ホームページの外国籍県民に対する情報提供の管理改善」では「・リンクボタンの部分は画像ファイルであり、画像にリンク付けして別のページに移動できるようにしています。画像ファイルは Google の自動翻訳には対応しておらず、また県のホームページの画像ファイルをすべて文字にすることは事務処理上の問題でできません。」が書いてありますので、もし神奈川県は今後もグーグル通訳を使う予定があれば、数年間かかるけど、ウェブサイトをアップデートするときに、テキストありリンクボタンよりリンクしてあるテキストをお勧めします。
理由	神奈川県ホームページで青いと白いリンクボタンは翻訳になりますとよいと思います。
備考	今後の会議で、提言構想に関係する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？ 希望するテーマがあれば、記入してください。

ていげんこうそう きにゆうようしき
提言構想メモの記入様式

名前	韓 昌熹
タイトル	大規模災害の時、外国人県民支援のため、関連機関と外国人県連単体間のネットワーク構築について
内容	(会議で話し合いたいこと) ネットワーク形式について意見交換 ① 定例会議的な形式 ② 組織図 (名簿としての登録・管理)
理由	外国人関連団体とネットワークを構築するとき、どのような形にするのか、委員の皆さんと意見交換をしたい。 現状、事務局的な組織がない状況で、負担を少なくして、どのように実行できるのかを図りたい。
備考	今後の会議で、提言構想に関係する内容について、勉強会を実施することを検討しています。どのようなテーマについて学習したいですか？ 希望するテーマがあれば、記入してください。 ① 県の所管局、課として、ネットワーク構築したい外国籍県民に関する団体(種別)に関するヒアリング

ていげんこうそう きにゆうようしき
提言構想メモの記入様式

名前	まつむら エレーナ
タイトル	がいこくじん ほごしや にもわかりやすい こうこうじゅけん サポートのしくみづくり
内容	・ がいこくじん ほごしや 向けに、「やさしい日本語」を用いて 行う説明会を開く。 ・ こうこうじゅけん なが ひつよう しよるい ず れい つか なく説明する。 ・ がっこう だけでなく、ちいき こくさいこうりゅうだんたい とも 協力して じょうほうていきよう おこな 情報提供を行う。 ・ すべ かてい おな じょうほう とど 全ての家庭に、同じように 情報が届くしくみをつくる。 【期待される効果】 ・ がいこくじん ほごしや あんしん こ 子どもの じゅけん をサポートできるようになる。 ・ にほんじん かてい にも 分かりやすいガイドは役に立つ。 ・ じょうほうかくさ すく こうへい しんろえら 情報格差が少なくなり、より公平な進路選びができるようになる。
理由	【背景】 ・ だいがくじゅけん せいと じぶん しんろ き おお こうこうじゅけん 大学受験では、生徒が自分で進路を決めることが多くなりますが、高校受験のときは、まだ保護者のサポートが必要です。 ・ しかし、がいこくじん ほごしや にほん こうこうじゅけん のしくみをよく知らないことが多いです。 ・ がっこう じゅく せつめい せいと おお ほごしや じょうほう とど 学校や塾での説明は、生徒にだけされることが多く、保護者には情報が届きにくいです。 【問題点】 ・ こうこうじゅけん てつづ じちたい がっこう すこ 高校受験のルールや手続きは、自治体や学校によって少しずつちがいます。 ・ じょうほう にほんじん かてい 情報がわかりにくく、日本人の家庭でもむずかしいことがあります。 ・ がいこくじん ほごしや りかい 外国人の保護者にとっては、もっと理解がむずかしくなっています。 ・ そのため、じゅけん ひつよう じょうほう つた こ 子どもの進路に影響が出ることがあります。
備考	備考欄：学びたいテーマ - ちいき こうこうじゅけん 地域による高校受験のちがい - がいこくじん きょういく れい 外国人のための教育サポートの例 - きょういく かん じょうほう さ 教育に関する情報の差をなくす方法 - にほんご たげんご せつめい れい やさしい日本語や多言語での説明の例

ていげんこうそう きにゆうようしき
提言構想メモの記入様式

なまえ 名前	ゆ ばいれい 兪 培麗
タイトル	がくしゅうしえん こうりつこうこうじゅけんとかくべつぼしゅう しがんしかく 学 習 支 援（公立高校受験特別募集の志願資格）について
内容	かながわけんがいこくじんとうこうこうじゅけんとかくべつぼしゅう しがんしかくちゅう 神奈川県外国人等高校受験特別募集の志願資格中に れいわ ねんにゆうがくしゃせんぼつ にゅうこくご ざいりゅうきかん ねんいない ねんいない 「令和4年入学者選抜は入国後の在留期間が3年以内から6年以内に 更新した。 ①神奈川県外国人高校受験の特別募集枠が増えてほしい。 ②志願資格中在留期間年数は6年から短くなって希望です。 ③学習支援は国、英、数科目の多い、社会と理科の学習支援を増やして ほしい。
理由	①2023年から、神奈川県在住外国人が毎年増えてますので在県特別募集枠が拡大 してほしい。 ②日本の高校へ進学する受験が必要です、海外での高校生は来日後進学できず、 (9年義務教育は終わりました。) その子供たちはフリースクールで1年間高校 受験ための勉強をして、現役中3の子どもたちと一緒に受験するしかない。 学習支援は基本の国、英、数より社会と理科を増えてほしい。 海外から来日の子供たちは日本の社会と理科を苦手の人が多い、弱点を克服する なら日本の高校受験で選べる学校が増えて道が広がる。 ③夜間高校が一つ選択。
備考	こんご かいぎ ていげんこうそう かんけい ないよう べんきょうかい じっし けんとう 今後の会議で、提言構想に関係する内容について、勉強会を実施することを検討し ています。どのようなテーマについて学習したいですか？ 希望するテーマがあれば、記入してください 〔にほん せいかつ にほん しゃかい な じ にほん しゃかい り か べんきょう 日本で生活する、日本の社会で馴染むは日本の社会と理科を勉強しなければなら ない。学習支援は国、数、英、社会と理科5科目が必要と思います。〕